

宮若市社会福祉協議会だより
～みんなでしあわせづくり～

ほっと



かつ 飛ばせ



障がい者サロン・
手話サロンで野球観戦



令和 元 年 7 月号

●今月の主な内容

平成30年度事業・決算報告	②③
子育て情報	④
寄附一覧	⑤
すまいるトピックス	⑥

平成30年度 事業報告

団塊世代が後期高齢者になる2025年を目前に控え、人生のどの段階でも高齢期の暮らしを具体的に描ける地域コミュニティを作ること目標に掲げ、その取り組みが進められています。

社会福祉協議会では、市の施策に呼应しながら、配食サービス・高齢者居場所づくり事業・学童保育などの受託事業の充実や、福祉委員の設置、福祉会の組織化などの取り組みを通じて、地域住民が主体となり、日常生活の「困った」をいち早く発見し、それを受け止め解決していくための仕組みづくりなどの取り組みを進めました。

これからの福祉は、公的な福祉にすべてを頼るのではなく、役割分担による地域の取り組みがますます重要になります。これからも社会福祉協議会だからこそできるより効果のある事業を実施し、しあわせなまちづくりに努めます。

○ 主な事業

■ 地域福祉を推進

これからの活動の糧としていただくため、セミナーや座談会等を積み重ねながら、地域の主体的な取り組みを進めるべく、福祉委員の設置、福祉会の組織化、サロン活動の取り組みなどを進めました。現在、活動が徐々に広がり、ふれあい台帳の整備やそれを基にした福祉マップづくり、安否確認のための仕組みづくりなど活動内容が充実してきています。

■ ボランティア活動を支援

多くの方がボランティア活動センターに登録し、サロン活動や障がい者支援、施設での活動などを行っており、また市の介護予防ボランティアにも多くの方が登録し、自身の介護予防も含め社会貢献の場になっています。活動センターでは、養成講座や活動のコーディネート、団体の活動支援などを行っています。

■ 相談機能を充実

法律的な相談窓口として、弁護士による無料法律相談を開設し、必要な方への支援を行いました。また、経済的困難な人には生活福祉資金の貸付の受付、日常生活自立支援による金銭管理、取りあえずの食をつなぐためのフードバンクによる食物の提供など、市の生活困窮窓口や生活保護施策とともに、生活を継続していくための支援を行いました。その他、社会福祉の専門機関として、介護など福祉制度に関する相談も日常的に受け付けています。

■ 高齢者を支援

閉じこもりを防ぎ社会参加の場と情報交換の場として地域主体によるいきいきサロンの取り組みを進めました。また、民生委員さんの協力により、閉じこもりがちな高齢者を対象としたふれあい交流会には、多くの方が参加されました。また、ボランティアによるふれあい電話や老人クラブによるふれあい訪問員活動による声かけなど、孤立化を防止し、支援が必要な人の早期発見の取り組みが進められます。

■ 障がいを抱えている人への支援

「障がいのある人もない人も、安心して暮らせる共生社会の実現」を目指し、障がいを抱えている人の交流の場として障がい者サロンの開催や福祉車両の貸出、バスハイイクや防災コンサートなどの団体の活動支援、団体への福祉センター売店の委託など、社会参加を推進する取り組みを進めました。

■ 子育てを支援

子育て交流会の開催や子育てグループの活動支援を行いました。また、市内の有志の方による子ども食堂の開設を支援し、月1回をベースに取り組みがされています。その他子育て用品のリユースやチャイルドシートの貸出、市から受託の学童保育所の開設など、養育支援を行っています。

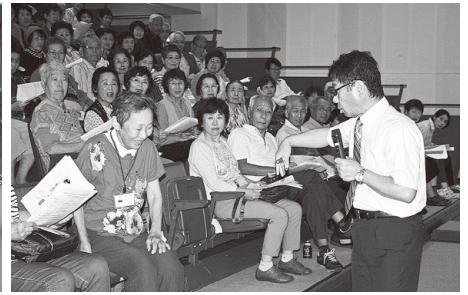
■ 福祉教育を推進

地域の福祉関係者を対象とした地域福祉セミナーでは、自治会のみなさんに住民主体のまちづくりの大切さについて学んでいただきました。また子どもたちを対象としたボランティアスクールや全小・中・高校の福祉協力校の指定、学校における福祉学習の支援など、子どもの頃からの福祉に対する意識づくりに取り組んでいます。

■ 社会福祉センターの運営

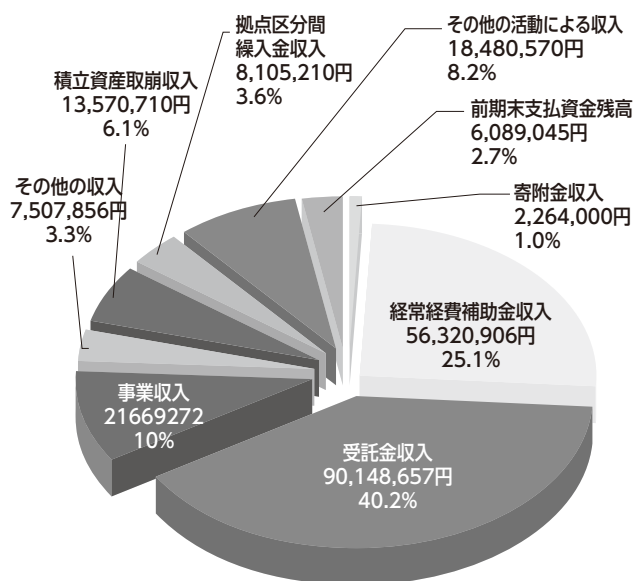
所田の湯として市民に親しまれている社会福祉センターの指定管理委託を宮若市より受け、管理運営を行いました。また、社会福祉の拠点として、ボランティア団体・福祉団体等に会議室、事務機器等を貸出など活動支援を行い、市民の皆さまが快く利用できる福祉施設の運営に努めています。

事業のようす



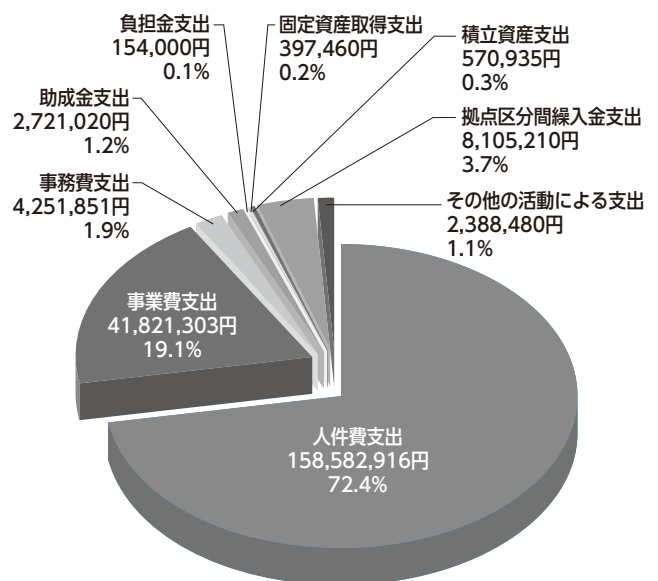
平成30年度 決算報告

○ 資金収支計算書



収入

224,156,226円

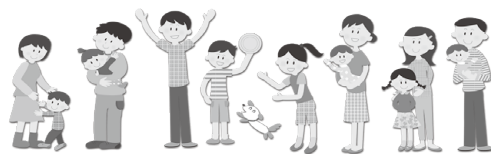


支出

218,993,175円

※ 詳細については、社協ホームページまたは、独立行政法人福祉医療機構のホームページ（WAMNET）をご覧ください。

子育て情報



社会福祉協議会では、子育て世帯の支援として、交流会の開催、チャイルドシートの貸出や子育て用品のリユース、子育て団体の支援などを行っています。

子育て交流会の開催

ENJOY SUMMER！ 親子でえいご



歌ったり踊ったり親子で楽しもう！
おはなしにちなんだ工作も♡

会場 ハートフル多目的ホール



第1回 2019年 8月 7日(水) 10時～12時まで

第2回 2019年 8月20日(火) 10時～12時まで



8/7、8/20ともに工作費(1つ200円)がかかります。
参加申込みの際に数量を申し付けください。

定 員：宮若市在住の親子30組(先着順)
申込期限：2019年7月22日(月) 15:00迄



昼食を持参すればイベント終了後、
ハートフル和室で食事ができます。



チャイルドシート貸出

■どんなときに貸してもらえるの？

- ・市内の子育て世帯で必要な方
- ・宮若市に帰省をし、一時的に必要な方

■チャイルドシートの種類

- ・新生児対応型(0歳～4歳頃まで)
- ・幼児学童対応型(1歳頃～6歳頃まで)

■貸出期間

- ・短期(3ヶ月以内) …… 祖父母等 ※更新不可
- ・長期(最大12ヶ月以内) … 両親
※6ヶ月ごとに更新が必要

■必要なもの

- ・印鑑 …… 免許証
- ・利用料 …… 1,000円(更新ごと)



詳細は事前に電話でお問い合わせ下さい。
(予約はできません)

子育て用品リユース

不要になった子育て用品を市民の皆様を持ち込んでもらい、必要な人が自由に持ち帰ることが出来る「子育てリユースセンター」を設置しています。

ご家庭や職場などで不要になった子育て用品があれば、お寄せ下さい。



衣類等は、洗濯やクリーニングをお願いします。
また、リユースすることができないものは、ご遠慮いただく場合があります。

※自宅に伺っての引取りや買取り、販売はいたしません。

問い合わせ先 宮若市社会福祉協議会 TEL 0949-32-0335 FAX 0949-32-1009

寄 附 お 礼

平成31年4月1日～令和元年5月31日(敬称略)

○寄附金は、社会福祉協議会(社会福祉センター内)と若宮総合支所市民窓口課市民窓口係(若宮コミュニティセンター「ハートフル」内)で受け付けています。

社会福祉増進のため、皆さまのあたたかい善意のご芳志をお待ちしています。

ーお知らせー

寄附金の税額控除制度により、2,000円以上のご寄附をされた方は、寄附金額から2,000円を引いた金額の40%が税額に関係なく所得税の税額から控除(所得税額の25%が限度)されます。

詳しくはお問い合わせ下さい。

●●●● 香典返しとして ●●●●

寄附者名	故人	住所
有 吉 広 幸	有 吉 正 義	芹 田
安 藤 哲 朗	安 藤 ヒサ子	平
岡 野 知津子	時 林 初 子	ニュータウン杉坂
毛 利 榮 次	毛 利 リ ツ	脇 田
梶 原 智 子	梶 原 和 年	岩 渕
小 田 善 徳	小 田 マツノ	湯 原
樋 口 博	樋 口 怜 子	生 見
安 田 文 子	安 田 寛 道	長 井 鶴
仲 谷 英 一	仲 谷 明	長 井 鶴

●●●● 一般寄附として ●●●●

一般寄附者氏名・団体名

宮田さつき愛好会

次の方々から、「香典返し」として社会福祉協議会にご寄附をいただきました。心よりお礼申し上げます。この浄財は、チャイルドシート貸出事業や無料法律相談事業等社会福祉事業を推進するために、大切に使用させていただきます。

車 椅 子 貸 出

車椅子の必要な方に一時的に貸出を行っています。

対象は**宮若市在住**で退院、旅行、ケガなどで車椅子を必要とする方です。

介護保険等、他制度が利用できる方はそちらを優先して下さい。

■必要なもの

・印鑑



弁護士による無料法律相談

毎月第2火曜日の午後1時から4時まで、法律相談を実施しています。

7月9日(火)

8月6日(火)

事前予約が必要

●定員 6名(1人30分)

●場所 社会福祉センター(所田)

相談



してみよう

福祉車両貸出



車椅子の方の外出支援として、福祉車両(車椅子送迎車)の貸出を行っています。

対象は**宮若市在住**で車椅子等により福祉車両でしか移動できない人としています。

事前予約が必要

■必要なもの

・印鑑 ・免許証
・利用料 …… 燃料代(実費)

問い合わせ先 宮若市社会福祉協議会 TEL 0949-32-0335 FAX 0949-32-1009

みんなでいっしょに福祉のまちづくりに取り組みませんか！

宮若市では、いろいろな福祉活動に取り組んでいるボランティア団体、福祉団体があります。その一部をご紹介します。

市民のみなさん、私たちといっしょに福祉のまちづくりに取り組みませんか。社会福祉センター内に設置しているボランティア活動センターでは、みなさんの活動を応援しています。興味のある方は、ぜひお越しください。

宮若市ボランティア連絡協議会

ボランティア活動に取り組んでいる個人・団体等で組織し、福祉のまちづくりに取り組んでいる団体です。

4月20日に開催された総会では、事業報告・決算・事業計画・予算の審議の後、きんもくせいケアプランサービスの末田主任介護支援専門員さんから「介護の実情について」話を聞き、これからの介護の課題について学びました。



宮若市障がい者連絡協議会

市内で障がい者団体・NPOで組織し、交流を深めながら協力・連携して、障がいの有無にかかわらずお互いが尊重しあう明るく豊かなまちづくりに取り組んでいる団体です。

6月1日に開催した総会では、協議事項の後、別府の「太陽の家」の創設者で東京パラリンピックの開催にご尽力された中村裕医師のドラマ「太陽を愛したひと」のビデオ鑑賞をしました。

宮若市手をつなぐ親の会

知的障がいを抱える子の家族の会です。会では、交流を図りながら、障がいの有無にかかわらず、互いに権利を尊重し合える共生社会を目指して活動しています。

5月18日開催した総会では、協議事項の後、数人のお母さんが子どもが生まれた時の事から、これからの親亡き後の不安などを語られ、中には涙ぐむ方も居られ、みなさんでそのおもいを共有しました。



みんなですすむわらびの会

障がいを抱えていてもいなくても、みんなで地域社会の中で普通にあたり前に暮らしていけるような社会づくりを進めようと、いろいろな障がいを抱える方と関わるボランティアの皆さん、趣旨に賛同する皆さんで組織された会です。

5月18日に開催した総会では、協議事項の後、外出の問題など意見交換をしました。

表紙の紹介

毎月社会福祉センターで開催しています障がい者サロンと手話サロン合同で、6月16日に、メセナシートによるソフトバンクホークスの野球観戦に出かけました。(表紙)

メセナシートとは、ソフトバンクホークスの「野球を通じた社会貢献活動」として、ご賛同いただいた企業より、ヤフオクドームの野球観戦チケットをご提供いただき、福祉団体や施設等の方々に野球観戦に招待していただいている事業です。

当日は、社会福祉協議会職員が引率し、30名が参加。ヒットが出るたびに、歓声を上げました。

問い合わせ先 宮若市社会福祉協議会 TEL 0949-32-0335 FAX 0949-32-1009